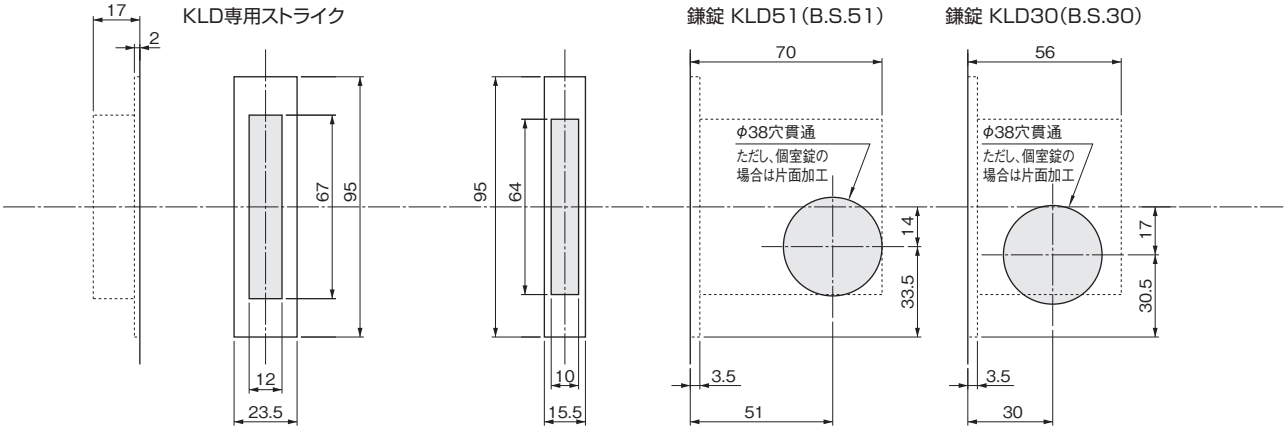
使用条件 一般住宅屋内用木製引戸（玄関や屋外、浴室では使用しないでください）
◇対応戸厚:28mm～36mm

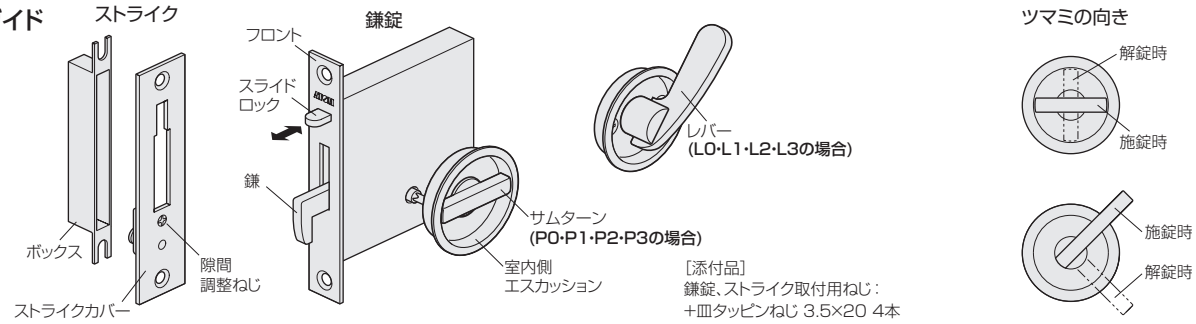
ケース鎌錠KLD51／KLD30　P0･P1･P2･P3 サムターンタイプ　L0･L1･L2･L3 レバータイプ

■掘込加工参考図



ご注意 ※**個室錠（P0･L0）**の場合は室内側から掘込み、穴は貫通させないでください。※掘込加工は上図や商品添付の取扱説明書を参考にして正確に行ってください。
※掘込加工部には必ず芯材を入れてください。芯材が無いと引戸内部で鎌錠が振られ、製品が変形・破損・故障するおそれがあります。

■施工ガイド

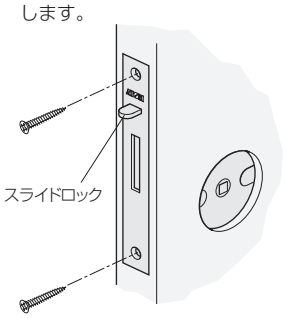


1 掘込加工

掘込加工参考図に基づき、戸と枠に掘込加工をします。

2 ケースの取付け

スライドロック側を上にして、鎌錠ケースを戸の加工穴に差込み、ねじ止めします。



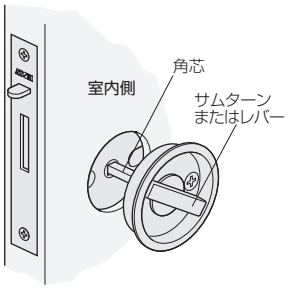
3 室内側の取付け

戸厚に合わせて角芯を選択します（添付品）。

対応戸厚	28～32mm	32～36mm
エスカッション固定ねじ	+皿（D6）M4×16mm 2本	
角芯	S（□4×22mm）	L（□4×27mm）

①角芯をサムターン（レバー）側の角穴に取付けてください。
②角芯をケースに差込みます。

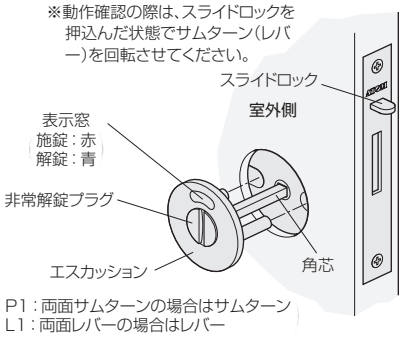
※レバーは鎌が出た状態の時に斜め上の向きになるように取付けてください。
※P0、L0（個室錠タイプ）の場合、室内側サムターン（レバー）をねじで取付けます。室外側エスカッションはありません。



4 室外側の取付け

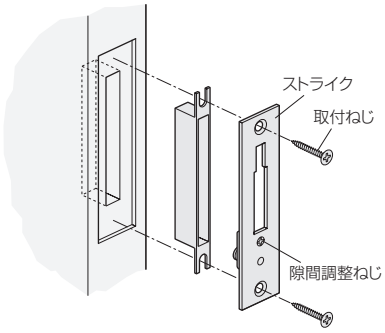
①エスカッションを角芯およびケースに差込みます。
②室内側からエスカッション固定ねじを取付けます。

※動作確認をしながら徐々に固定ねじを締めるようにしてください。
※動作確認の際は、スライドロックを押込んだ状態でサムターン（レバー）を回転させてください。

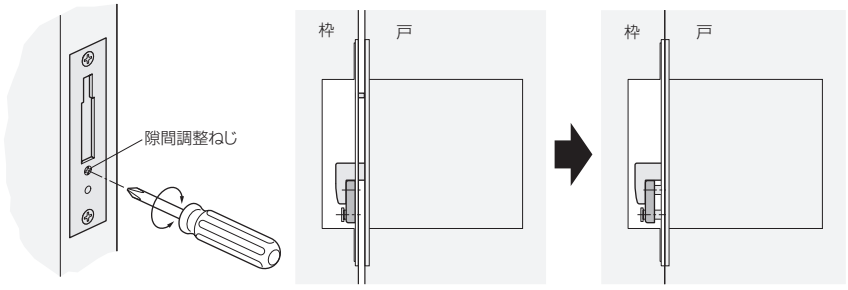


5 ストライクの取付け

隙間調整ねじ側を下にして、枠の加工穴に差込み、ねじ止めします。



ストライクの調整

枠と戸に隙間ができた場合は隙間調整ねじで間隔を調整できます。
（調整範囲：2.5mm以内）

隙間をなくすためにはストライク表面にある調整ねじを回します。